

令和6年度第1回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 令和6年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿・・・・・・・・・・ P 1
- 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】令和5年度第1回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会の概要・・・・ P 3
- 【資料2】鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への入学者選抜の状況・・・・ P 6
- 【資料3】鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移・・・・・・・・・・ P 8
- 【資料4】鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への入学状況・・・・・・・・ P 9
- 【資料5】令和6年度の協議について・・・・・・・・・・ P 10
- 【資料6】鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）・・・・ P 11
- 【資料7】鈴鹿亀山地域中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移と予測・・ P 12
- 【資料8】鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて（R7年度）・・・・ P 13
- 【資料9】令和21年度までの鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の
総学級数と当協議会の協議について・・・・・・・・・・ P 17
- 【資料10】鈴鹿亀山地域の県立高等学校の特色・・・・・・・・・・ P 18
- 【資料11】鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況・・・・ P 26
- 【資料12】地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について・ P 27

令和6年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	区分	所属等	名前
1	学識経験者	三重大学教育学部 准教授	市川 俊輔
2	地域有識者	鈴鹿商工会議所 専務理事	内藤 俊樹
3		亀山商工会議所 専務理事	山本 安夫
4	市町教育委員会 教育長	鈴鹿市教育委員会 教育長	廣田 隆延
5		亀山市教育委員会 教育長	中原 博
6	県立高等学校長代表	県立飯野高等学校 校長	今高 成則
7	小中学校長代表	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 校長	羽山 哉美
8	小中学校PTA代表	鈴鹿市PTA連合会 代表 (鈴鹿市立桜島小PTA 会長)	村田 多恵子
9		亀山市PTA連合会 代表 (亀山市立川崎小PTA 会長)	佐久間 淳司
10	高等学校PTA代表	高等学校PTA連合会 代表 (県立亀山高等学校PTA 会長)	藤井 千恵子
11	小中学校教職員代表	鈴鹿市立庄内小学校 教諭	谷口 哲也
12	高等学校教職員代表	県立神戸高等学校 教諭	和田 馨

鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、鈴鹿亀山地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の鈴鹿亀山地域全体における県立高等学校の在り方に関すること
- (2) 鈴鹿亀山地域の県立高等学校活性化の方策に関すること
- (3) 施設・設備に関すること
- (4) その他検討を要すること

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は令和5年12月1日から施行する。

令和5年度第1回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和6年1月24日（水）19時00分から21時00分まで
- 2 場所 三重県鈴鹿庁舎 46会議室
- 3 概要

「県立高等学校活性化計画」や、令和4年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの鈴鹿亀山地域の中学校卒業生数の減少の状況等をふまえ、当地域において15年先に求められる（実現したい）学びや高校のあり方、今後の協議を深めていくための視点などについて協議しました。

主な意見は次のとおりです。

《鈴鹿亀山地域で実現したい学びや高校のあり方について》

- 鈴鹿亀山地域の中学校卒業生の約4割が地域外の全日制高校へ進学しており、特に、当地域に設置されていない工業科や商業科へ一定数の生徒が進学している。そのため、これら職業系専門学科が当地域に設置されれば、子どもたちの地域外への移動が少なくなり、学級減の必要もなくなるのではないかと。
- 少子化の中では、新たな専門学科の設置は難しいところもあるため、それぞれの県立高校は地域のニーズをふまえて特色化・魅力化に取り組んでいる。例えば、稲生高校の普通科では、6つのコースを設置し専門学科に近い学びを提供している。
- 普通科のコースでは、専門教科の授業や実習が少ないため、専門学科と比較するとどうしても知識や技能に差が生じてしまう。また、当地域の事業所からは、おそらくこれまでに就職実績がある事業所や地元の事業所が優先されるためか、四日市市や津市の工業高校、商業高校に求人を出しても、生徒の応募がなく、人手不足であると聞いている。ニーズがあるにもかかわらず専門学科が設置されないのは、予算上の理由からなのか。
⇒（事務局）予算上の課題もあるが、本県の職業系専門学科の割合は全国的に見ても高いため、中学校卒業生数が減少する中で、新たに専門学科を設置することは難しい。こうしたこともあり学科の区分にとらわれず、各学校が地元企業と連携し、地域の産業の魅力を知る機会を増やしていくことが大切であると考えている。
- 難関大学への進学を希望する生徒の多くが、神戸高校ではなく、四日市市や津市の普通科高校へ進学している。また、国公立大学への編入がしやすいということで、高等専門学校（高専）を選ぶ生徒もいる。子どもたちや保護者の中にある学校の序列を打破するのは難しいので、当地域でこのようなニーズに応えていくためには、学校だけでなく行政も協力して抜本的な改革に取り組む必要がある。

《高校の特色化・魅力化と情報発信等について》

- コロナ禍で学校見学がほとんどできなかった時期には、子どもたちはより迷いながら進路選択をしていた。現在は一人一台端末があるので、動画で各高校の学習活動や部活動の様子を配信すれば、子どもたちがより身近に学校の魅力を感じることができるのではないかと。

- 高校の特色化・魅力化も大切だが、高校を選択するにあたっては、中学校までの段階で将来どのような職業に就きたいかを大学進学や資格取得等の観点から考えておくことが大切である。
- 商工会議所では、小学校、中学校、高校の段階に分けて、地元企業の魅力を伝える取組を行っている。また、稲生高校の自動車工業コースに、市内の事業所から講師を派遣したり、同校の介護福祉コースに、市内の介護福祉施設が実習用の介護ベッドを寄付したりするなど、地元経済界が学校とともに子どもたちを育てるという意識で、地域の教育活動に参画している。

《交通に係る課題について》

- 亀山市から鈴鹿市内の高校へは交通の便がよくないため、亀山高校かJR沿線の四日市市や津市の高校を選択する生徒が多い。鈴鹿市内の高校へ通いたいと思う子どもたちのために、路線バスの経路の見直しや通学バスの運行などの支援をお願いしたい。
- 鈴鹿市と亀山市がそれぞれ独自で運行するコミュニティバスについて、市を越えて連携させ、鈴鹿・亀山間の交通の利便性の向上が図られるよう、当協議会から行政へ提言することを検討してはどうか。

《今後の協議に必要な視点や進め方について》

- 当地域の高校の統廃合や学級減を考える際には、他地域の職業系専門学科への進学をどう捉えるのかを議論する必要がある。
- 全国的に不登校の児童生徒が増加していることから、中学校までにしっかりと学ぶことができなかつた子どもたちの学び直しの場も高校には必要ではないか。
- 当地域の小中学校には外国につながる子どもたちが多く在籍していることから、高校においても、外国につながる生徒を受け入れ、学びを支えていくという視点が必要である。
- 地元の高校で学んだ生徒が、地元就職することも大切であるが、他地域の高校で学んだ生徒や県外の大学に進学した生徒が、地元に戻って働きたいと思えたり、それを実現できたりする仕組みづくりも必要である。
- 15年先を見据えたとき、1学級40人という基準が引き下げられれば、学級数を維持しながら教育を充実させることができる。法律で定められている1学級あたりの生徒数や教職員定数の基準の見直しについて、当協議会を含め、いろいろなところで声を上げていくべきではないか。
- 小規模な高校では、生徒一人ひとりに丁寧な指導が行き届くというメリットがあると聞いている。一方で、いじめ等があった場合に、クラス替えが難しいなど、生徒の安心できる場の確保が難しく、その結果、退学を選択せざるをえなくなるケースがあるとも聞いている。どれくらいの学校規模が適切かはわからないが、統合や学級減を検討する際には、いじめ防止の観点からも慎重に考えてほしい。
- 協議を進める上で、子どもたちの意見を大切にしていきたい。アンケートなどで、中学生が高校に対してどのような意見を持っているかを聞く機会をもってほしい。

○ このたび当協議会が立ち上げられたが、今後どのようなことをいつまでに協議する必要があるのか。

⇒（事務局）令和10年度に当地域で大きな生徒減が見込まれており、統合を含めた対応については、その3年前の令和7年度までに方向性をとりまとめる必要がある。

《今後の協議に必要な資料について》

- 学級減の必要性を議論するためには、当地域の中学校卒業生数の推移だけではなく、他地域への流出や他地域からの流入の状況が分かる資料も必要である。
- 就職率だけではなく離職率についても資料を提供してほしい。また、専門学科と普通科でそれらに差があるのかについても知りたい。また、高校を中退した生徒のその後の動向や、学校とどのようにつながりを持っているのかが分かる資料があるとよい。
- 生徒数の減少は全国的な課題であることから、国の動向について分かる資料もあるとよい。
- 学校規模が小さくなることによる影響が分かる資料や、先行している他地域の協議会の情報を提供してほしい。
- 石薬師高校については、併設されている杉の子特別支援学校石薬師分校の状況が分かる資料も提供してほしい。

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和6年度:現高1】

学校名	学科・コース	R6 入学 定員	R5.12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	240	211	▲ 29	/	/	/	240	170	240				239	▲ 1
	理数	80	142	62	40	119	41	39	153	39				80	
	計	320	353	33	40	119	41	279	323	279				319	▲ 1
飯野	応用 デザイン	80	90	10	80	91	80	/	/	/				80	
	英語 コミュニケーション	80	79	▲ 1	40	84	43	37	41	37				80	
	計	160	169	9	120	175	123	37	41	37				160	
白子	普通	200	204	4	60	165	66	134	143	134				201	
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	35	▲ 5	40	39	39	/	/	/	1	0	0	39	▲ 1
	生活創造	40	31	▲ 9	20	30	22	18	19	18				40	
	計	280	270	▲ 10	120	234	127	152	162	152	1	0	0	280	▲ 1
石薬師	普通	120	79	▲ 41	36	75	38	82	77	75	7	14	7	120	
	計	120	79	▲ 41	36	75	38	82	77	75	7	14	7	120	
稲生	普通	120	136	16	36	135	40	80	98	80				120	
	体育	40	62	22	20	61	22	18	24	18				40	
	計	160	198	38	56	196	62	98	122	98				160	
亀山	普通	80	91	11	24	78	27	53	63	53				80	
	システムメディア	80	86	6	40	85	44	36	36	36				80	
	総合生活	40	40	0	20	41	22	18	22	18				40	
	計	200	217	17	84	204	93	107	121	107				200	
地域内県立高校 計	1,240	1,286	46	456	1003	484	755	846	748	8	14	7	1,239	▲ 2	

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R5.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和5年度:現高2】

学校名	学科・コース	R5 入学 定員	R4.12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	200	188	▲ 12	/	/	/	200	158	200				200	
	理数	80	140	60	40	117	40	40	138	40				80	
	計	280	328	48	40	117	40	240	296	240				280	
飯野	応用 デザイン	80	98	18	80	98	80	/	/	/				80	
	英語 コミュニケーション	80	66	▲ 14	40	70	44	36	33	32	4	0	0	76	▲ 4
	計	160	164	4	120	168	124	36	33	32	4	0	0	156	▲ 4
白子	普通	160	159	▲ 1	48	140	53	107	107	107				160	
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	26	▲ 14	40	25	25	/	/	/	15	0	0	25	▲ 15
	生活創造	40	39	▲ 1	20	39	22	18	18	18				40	
	計	240	224	▲ 16	108	204	100	125	125	125	15	0	0	225	▲ 15
石薬師	普通	120	75	▲ 45	36	69	40	80	79	75	5	5	5	121	
	計	120	75	▲ 45	36	69	40	80	79	75	5	5	5	121	
稻生	普通	120	113	▲ 7	36	108	40	80	88	80				120	
	体育	40	42	2	20	47	22	18	15	18				40	
	計	160	155	▲ 5	56	155	62	98	103	98				160	
亀山	普通	80	108	28	24	92	27	53	73	53				80	
	システムメディア	80	101	21	40	99	44	36	47	36				80	
	総合生活	40	33	▲ 7	20	30	22	18	16	18				40	
	計	200	242	42	84	221	93	107	136	107				200	
地域内県立高校 計		1,160	1,188	28	444	934	459	686	772	677	24	5	5	1,142	▲ 19

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R4.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移

資料 3

鈴鹿亀山地域の状況

	卒業年度	卒業者数	鈴鹿亀山地域(全日制)										地域外(全日制)					定時制・通信制			その他	
			県立							計	私立・高専		合計	県立			県内私立・高専	県外	県内			県外
			神戸	飯野	白子	石薬師	稻生	亀山	鈴鹿		鈴鹿高専	四日市地域		津地域	その他地域	定時制			通信制	通信制		
2市の合計	R6.3卒	2,413	235	66	160	100	130	153	844	339	49	1,232	325	338	46	147	36	64	95	68	62	
		100%	9.7%	2.7%	6.6%	4.1%	5.4%	6.3%	35.0%	14.0%	2.0%	51.1%	13.5%	14.0%	1.9%	6.1%	1.5%	2.7%	3.9%	2.8%	2.6%	
	R5.3卒	2,221	202	72	128	83	129	166	780	290	49	1,119	323	315	40	152	29	47	80	56	60	
		100%	9.1%	3.2%	5.8%	3.7%	5.8%	7.5%	35.1%	13.1%	2.2%	50.4%	14.5%	14.2%	1.8%	6.8%	1.3%	2.1%	3.6%	2.5%	2.7%	
R4.3卒	2,409	229	73	141	83	145	167	838	299	62	1,199	355	344	52	159	43	57	73	72	55		
	100%	9.5%	3.0%	5.9%	3.4%	6.0%	6.9%	34.8%	12.4%	2.6%	49.8%	14.7%	14.3%	2.2%	6.6%	1.8%	2.4%	3.0%	3.0%	2.3%		
R3.3卒	2,259	192	73	125	86	140	169	785	308	51	1,144	374	335	43	129	28	35	53	66	52		
	100%	8.5%	3.2%	5.5%	3.8%	6.2%	7.5%	34.7%	13.6%	2.3%	50.6%	16.6%	14.8%	1.9%	5.7%	1.2%	1.5%	2.3%	2.9%	2.3%		

市別の状況

	卒業年度	卒業者数	鈴鹿亀山地域(全日制)										地域外(全日制)					定時制・通信制			その他	
			県立							計	私立・高専		合計	県立			県内私立・高専	県外	県内			県外
			神戸	飯野	白子	石薬師	稻生	亀山	鈴鹿		鈴鹿高専	四日市地域		津地域	その他地域	定時制			通信制	通信制		
鈴鹿市	R6.3卒	1,973	217	58	160	80	122	69	706	304	41	1,051	265	255	30	115	29	50	73	56	49	
	R5.3卒	1,798	180	62	126	66	113	81	628	259	43	930	271	237	26	121	24	37	64	45	43	
	R4.3卒	1,988	203	61	139	66	134	72	675	275	46	996	318	276	34	126	39	45	56	53	45	
	R3.3卒	1,839	165	59	123	71	125	75	618	282	45	945	322	265	23	101	24	28	34	55	42	
亀山市	R6.3卒	440	18	8	0	20	8	84	138	35	8	181	60	83	16	32	7	14	22	12	13	
	R5.3卒	423	22	10	2	17	16	85	152	31	6	189	52	78	14	31	5	10	16	11	17	
	R4.3卒	421	26	12	2	17	11	95	163	24	8	195	37	68	18	41	4	12	17	19	10	
	R3.3卒	420	27	14	2	15	15	94	167	26	6	199	52	70	20	28	4	7	19	11	10	

【 R6.3 中学校卒業生（現高1）の鈴鹿亀山地域全日制高校以外への進路先】

* 鈴鹿亀山地域外（全日制） 合計 892 人

- ・ 四日市地域県立 四日市(39)、四日市南(66)、四日市西(10)、朝明(3)、四日市四郷(13)、四日市工(90)
(325人) 四日市中央工(10)、四日市商(34)、四日市農(50)、菰野(4)、川越(6)
- ・ 津地域県立 津(34)、津西(73)、津商(80)、津東(56)、津工(84)、久居(2)、久居農(7)、白山(2)
(338人)
- ・ その他地域県立 桑名(11)、桑名西(1)、桑名北(1)、いなべ総合(2)、上野(3)、あけぼの学園(11)、
(46人) 松阪工(6)、相可(3)、昴学園(5)、宇治山田(1)、宇治山田商業(1)、水産(1)
- ・ 県内私立・高専 津田学園(1)、暁(2)、海星(58)、四日市メリノール学院(2)、高田(55)、セントヨゼフ(1)
(147人) 三重(6)、皇学館(3)、鳥羽商船(14)、近大高専(5)
- ・ 県外 県外国公立全日制(3)、県外私立全日制(33)
(36人)

* 定時制・通信制・その他 合計 289 人

- ・ 県内定時制 四工(5)、北星(9)、飯野(38)、みえ夢(12)
(64人)
- ・ 県内通信制 北星(13)、松阪(3)、大橋学園(53)、徳風(26)
(95人)
- ・ 県外通信制 県外通信制(68)
(68人)
- ・ その他 就職・専修学校・その他(41)、特別支援学校(21)
(62人)

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への入学状況

資料 4

【令和6年3月】

単位：人

		神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	
募集定員		320	160	280	120	160	200	
県内 中学校 卒業 者	地域内	鈴鹿市	217	58	160	80	122	69
		亀山市	18	8	0	20	8	84
	地域外	四日市地域	56	46	50	13	8	2
		津地域	27	31	51	5	13	35
		その他地域	1	10	12	1	9	9
	県外・その他		0	7	7	1	0	1
合格者計		320	160	280	120	160	200	
入学者計		319	160	280	120	160	200	
欠員		▲ 1	0	▲ 1	0	0	0	
地域内入学者計		235	66	160	100	130	153	
割合		73.7%	41.3%	57.1%	83.3%	81.3%	76.5%	
地域外入学者計		84	87	113	19	30	46	
割合		26.3%	54.4%	40.4%	15.8%	18.8%	23.0%	
県外・その他		0	7	7	1	0	1	
割合		0.0%	4.4%	2.5%	0.8%	0.0%	0.5%	

【令和5年3月】

単位：人

		神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	
募集定員		280	160	240	120	160	200	
県内 中学校 卒業 者	地域内	鈴鹿市	180	62	126	66	113	81
		亀山市	22	10	2	17	16	85
	地域外	四日市地域	56	41	42	29	6	2
		津地域	22	26	34	7	14	23
		その他地域	0	11	19	1	11	7
	県外・その他		0	6	2	1	0	2
合格者計		280	156	225	121	160	200	
入学者計		280	156	225	121	160	200	
欠員		0	▲ 4	▲ 15	0	0	0	
地域内入学者計		202	72	128	83	129	166	
割合		72.1%	46.2%	56.9%	68.6%	80.6%	83.0%	
地域外入学者計		78	78	95	37	31	32	
割合		27.9%	50.0%	42.2%	30.6%	19.4%	16.0%	
県外・その他		0	6	2	1	0	2	
割合		0.0%	3.8%	0.9%	0.8%	0.0%	1.0%	

令和6年度の協議について

1 はじめに

少子化の進行とともに、予測困難なほど社会情勢が大きく変化する中、子どもたちを取り巻く教育的課題はより複雑化・多様化し、学校のあり方や教育そのものの意義も問われています。このような状況の中、令和4年3月に、これからの時代を生きていく高校生に育む力や、本県の県立高等学校で進めていく教育など、これからの三重の高校教育のあり方を示す「県立高等学校活性化計画（令和4年度から5年間）」を策定しました。

鈴鹿亀山地域では、「県立高等学校活性化計画」に基づき、令和5年度に当協議会を設置し、県立高等学校の学びと配置のあり方についての検討を進めてきました。

2 協議の進め方

令和5年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、今後の鈴鹿亀山地域の県立高等学校の総学級数は段階的に減少していくことが見込まれます。そうした中、当協議会では、鈴鹿亀山地域においてこれからの時代に求められる学びの提供を実現するため、当地域の高等学校の学びと配置のあり方について、具体的な対応もあわせて検討を進め、その中で1学年3学級以下の高等学校については統合についての協議も行うこととします。こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めていきます。

今年度の協議会では、令和10年度に見込まれる中学校卒業生数の減少に対する学級減に対して、3年前にあたる令和7年度までにその方向性を示す必要があるため、令和5年度の協議会に引き続き、地域の県立高等学校の現状と取り巻く状況、今後の地域の少子化の進行などについての情報を共有するとともに、今年度実施予定の地域の中学生・保護者へのアンケート結果をふまえ、15年先を見据えた鈴鹿亀山地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について協議します。

3 今後の協議会開催スケジュール

- (1) 第1回協議会（令和6年7月29日）
 - ・鈴鹿亀山地域の高等学校を取り巻く状況について
 - ・これからの鈴鹿亀山地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について①
 - ・アンケートの内容と実施について
- (2) 第2回協議会（令和6年11月頃）
 - ・アンケートの結果について
 - ・これからの鈴鹿亀山地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について②
- (3) 第3回協議会（令和7年2月頃）
 - ・これからの鈴鹿亀山地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について③

鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和6年5月1日 教育政策課調べ

	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 現中3	R 8.3 現中2	R 9.3 現中1	R 10.3 現小6	R 11.3 現小5	R 12.3 現小4	R 13.3 現小3	R 14.3 現小2	R 15.3 現小1
鈴鹿市	卒業生数	1,839	1,988	1,798	1,973	1,809	1,774	1,773	1,683	1,653	1,640	1,484	1,406
	前年度対比		149	-190	175	-164	-35	-1	24	-30	-13	-156	-78
	R6.3対比					-164	-199	-200	-290	-320	-333	-489	-567
亀山市	卒業生数	420	421	423	440	458	481	445	427	443	426	404	377
	前年度対比		1	2	17	18	23	-36	-31	16	-17	-22	-27
	R6.3対比					18	41	5	-13	3	-14	-36	-63
小計	卒業生数	2,259	2,409	2,221	2,413	2,267	2,255	2,218	2,110	2,096	2,066	1,888	1,783
	前年度対比		150	-188	192	-146	-12	-37	-7	-14	-30	-178	-105
	R6.3対比					-146	-158	-195	-303	-317	-347	-525	-630
県内合計	卒業生数	15,777	16,244	16,055	15,891	15,712	15,488	15,241	14,404	14,000	14,049	13,442	12,792
	前年度対比		467	-189	-164	-179	-224	-472	-365	-404	49	-607	-650
	R6.3対比					-179	-403	-650	-1,487	-1,891	-1,842	-2,449	-3,099

鈴鹿亀山 地域高校 (県立全日)	学級数(募集)	30	31	29	31	28
	欠員	30	36	19	2	
県内(県立全日)	学級数(募集)	271	274	268	263	258
	欠員	325	324	334	224	

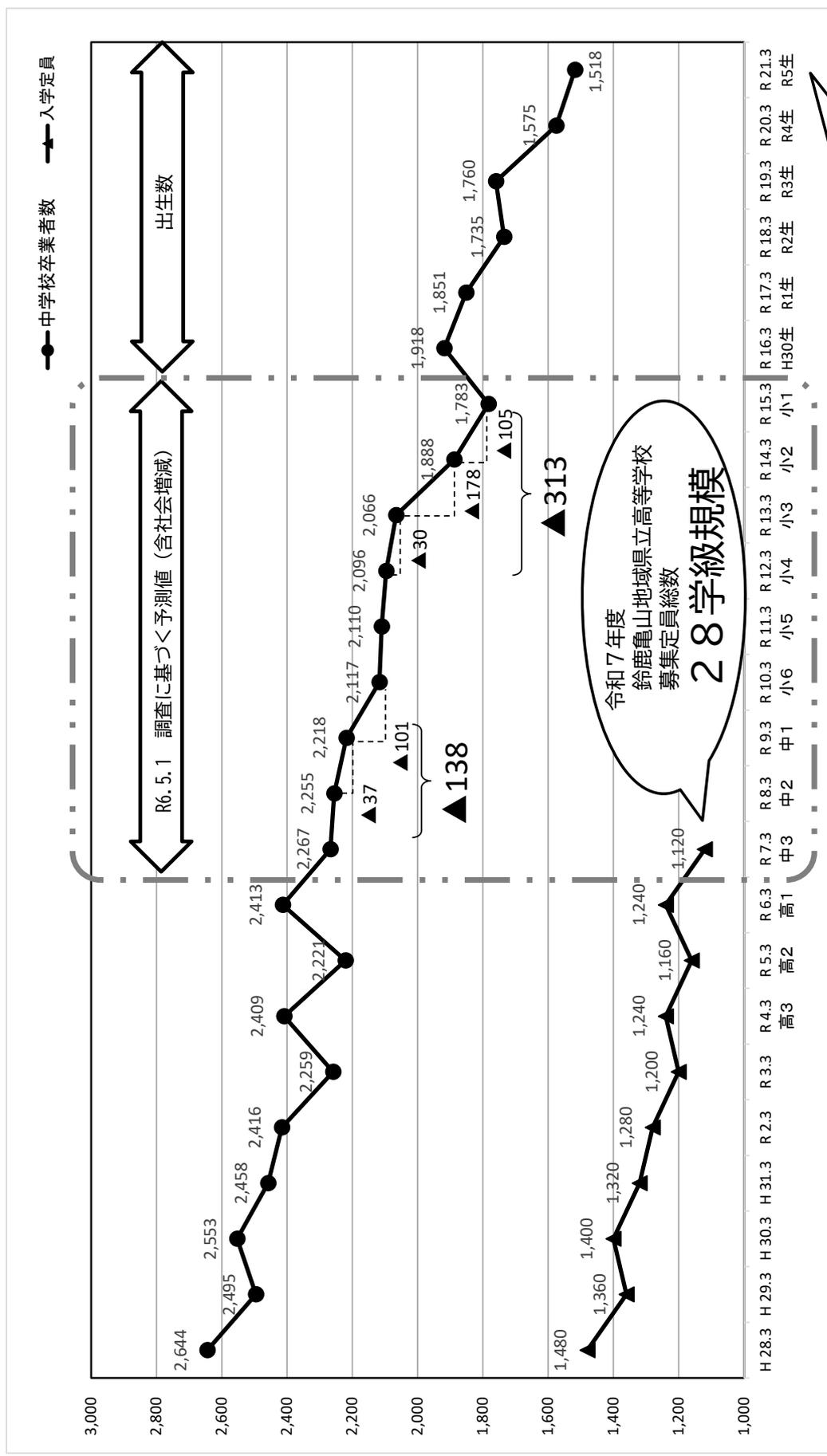
【私立高校】

鈴鹿	募集	470	480	475	475	470
	入学者数	456	435	445	500	

※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

鈴鹿亀山地域中学校卒業者数と県立高等学校入学定員の推移と予測

資料 7



【鈴鹿亀山地域の出生数】

	H29年度 現小1	H30年度 5~6才	R元年度 4~5才	R2年度 3~4才	R3年度 2~3才	R4年度 1~2才	R5年度 0~1才
鈴鹿市	1,545	1,507	1,508	1,376	1,400	1,306	1,211
亀山市	371	411	343	359	360	269	307
合計	1,916	1,918	1,851	1,735	1,760	1,575	1,518

鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて（R7年度）

1. 全日制課程

県立 (1,120人)

- | | |
|---------------|---|
| ・神戸高等学校（鈴鹿市） | 普通科：200人
理数科：80人 |
| ・飯野高等学校（鈴鹿市） | 応用デザイン科：80人
英語コミュニケーション科：80人 |
| ・白子高等学校（鈴鹿市） | 普通科：160人
文化教養（吹奏楽コース）：40人
生活創造科：40人 |
| ・石薬師高等学校（鈴鹿市） | 普通科：80人 |
| ・稲生高等学校（鈴鹿市） | 普通科：120人
体育科：40人 |
| ・亀山高等学校（亀山市） | 普通科：80人
システムメディア科：80人
総合生活科：40人 |

私立 (475人)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ・鈴鹿高等学校（鈴鹿市）
（鈴鹿中等教育学校後期課程含む） | 普通科：475人
特進コース・探究コース・総合コース・6年制 |
|----------------------------------|-----------------------------------|

2. 定時制課程

- | | |
|------------------------|---------|
| 県立 ・飯野高等学校（鈴鹿市） | 普通科：80人 |
|------------------------|---------|

3. 通信制課程

- | | |
|------------------------|--|
| 私立 ・徳風高等学校（亀山市） | 普通科：240人 ※技能連携制度あり
総合コース・トック [®] ケアコース・パソコンコース
日本語コース・土日コース・平日サポートコース |
|------------------------|--|

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
※農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科、理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科、その他専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

○ 技能連携制度

高等学校の通信制または定時制の課程に在籍する生徒が、各都道府県教育委員会の指定する技能教育施設で教育を受けている場合、その教育施設における学習を在籍高等学校における教科の一部の履修とみなす制度（学校教育法第55条）

鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて(令和7年度)

資料 8-②

		1	2	3	4	5	6	7	8	
	学校名	入学定員	【普通科】 ※2年生から文系・理系の類型に分かれる							
全日 制 課 程	神戸	280	【応用デザイン科】 ビジュアルデザインコース 服飾デザインコース 美術コース							
	飯野	160	【英語コミュニケーション科】 A(英語基礎力強化) B(ハイレベルな英語活動)							
	白子	240	【普通科】 進学コース 教養コース				【文化教養科】 (吹奏楽)コース		【生活創造科】 食彩コース 服飾コース	
	石薬師	80	【普通科】 スタンダードコース アカデミックコース							
	稻生	160	【普通科】 アドバンスコース・食物調理コース・情報コース 自動車工業コース・ビジネスコース・介護福祉コース			【体育科】				
	亀山	200	【普通科】 アドバンス系列 セラクション系列		【システムメディア科】 ITシステム系列 メディアデザイン系列 情報ビジネス系列			【総合生活科】 食物文化系列 人間福祉系列 幼児教育系列		
私立	鈴鹿	470	普通科(特進コース・探究コース・総合コース)							
		470	※募集定員には中等教育学校後期課程(6年制)も含む							

全28学級
普通科※ 24
専門学科 4
(家庭2)
(情報2)
総合学科 0

※大学の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

- 定時制課程 県立 飯野 80
- 通信制課程 私立 徳風 240
- 高等専門課程 国立 鈴鹿工業高専 200

- 普通科
- 普通科(総合コース、ドッグケアコース、パソコンコース、日本語コース、土日コース、平日サポートコース) ※技能連携あり
- 機械工学科(40)、電気電子工学科(40)、電子情報工学科(40)、生物応用化学科(40)、材料工学科(40)

【参考】四日市地域の高等学校の学科・コースについて(令和7年度)

資料 8-③

		1	2	3	4	5	6	7	8							
全 日 制 課 程	県 立	四日市	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース	国際科学コース							
		四日市南	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	数理科学コース							
		四日市西	普通科	普通科	普通科	比較文化・歴史コース	数理情報コース									
		朝明	普通科	普通科	普通科	ふくし科										
		四日市四郷	普通科	普通科	普通科	スポーツ科学コース										
		四日市工業	専門学科	電子機械科	電気科	電子工学科	建築科	物質工学科	自動車科							
		四日市中央工業	専門学科	機械科	電気科	化学工学科	都市工学科	設備システム科								
		四日市商業	専門学科	商業科	商業科	商業科	商業科	情報マネジメント科								
		四日市農芸	専門学科	農業科学科	食品科学科	環境造園科	生活文化科	生活文化科								
		菰野	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科									
		川越	普通科	探究科	探究科	探究科	探究科	探究科	国際探究科							
		暁	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科							
		四日市メリアル学院	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科							
		海星	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科							
			入学定員	320	320	200	160	160	280	200	240	200	160	280	430	140
	入学定員	2,520														
	入学定員	860														

全63学級
 普通科※ 39
 専門学科 24
 (工業 12)
 (商業 6)
 (農業 3)
 (家庭 2)
 (福祉 1)
 総合学科 0

※大学の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

- 定時制課程 県立 四日市工業 80
- 県立 北星 130
- 通信制課程 県立 北星 300
- 私立 四日市メリアル学院 60
- 私立 大橋学園 255

機械交通工学科(40)、住システム工学科(40)
 普通科(昼間部)(40)、情報ビジネス科(昼間部)(40)、普通科(夜間部)(40)、秋期入学(3学科共通)(10)
 普通科(240)、秋期入学(普通科)(60)
 普通科
 普通科(全日コース、医療コース、土曜コース) ※技能連携あり

普通科(Ⅰ類進学コース、Ⅱ類進学コース、Ⅱ類英進コース、6年制)、ダブルディプロマ科

【参考】津地域の高等学校の学科・コースについて(令和7年度)

資料 8-④

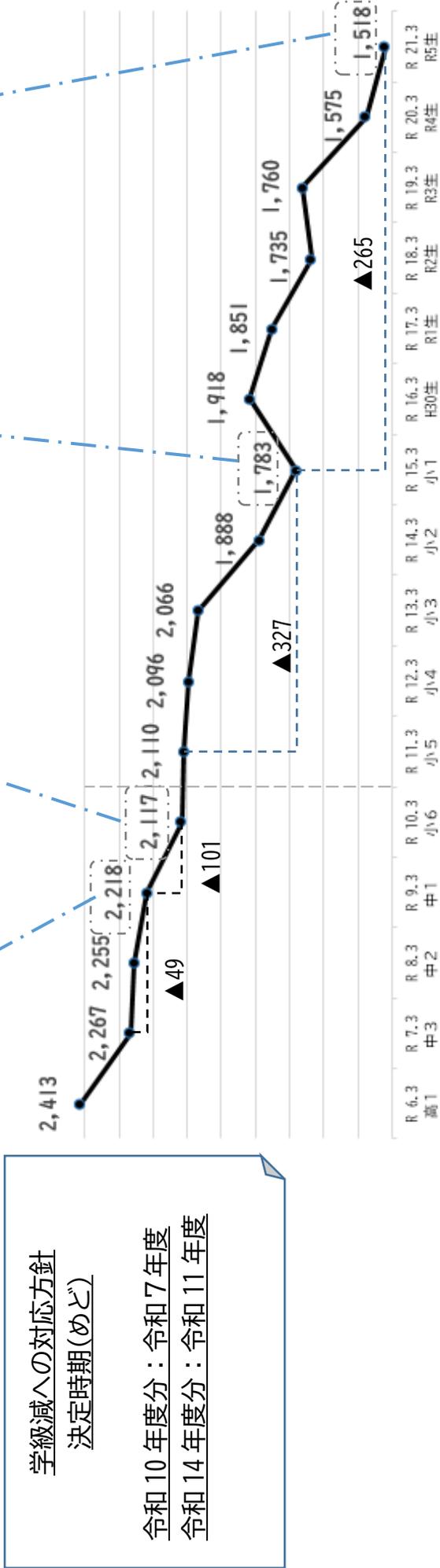
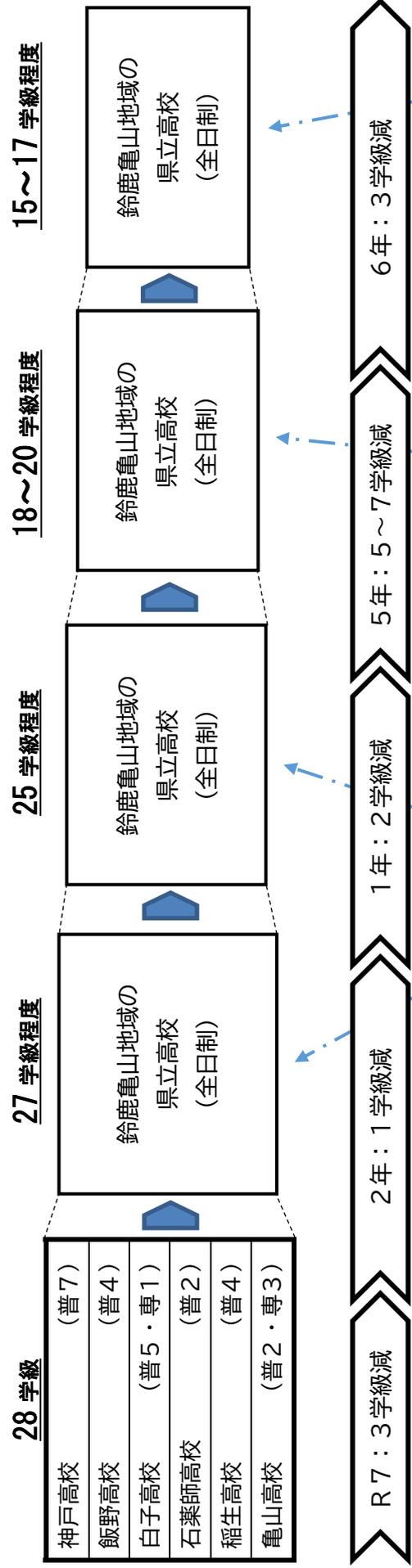
学校名	大学科※	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8
			普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
津西	普通科	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
津商業	普通科	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学科	国際科学科
津東	専門学科	240	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	情報システム科		
津工業	普通科	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
久居	専門学科	240	機械科	機械科	機械科	電気科	電子科	建設工学科		
久居農林	普通科	200	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科			
白山	専門学科	240	生物生産科	生物資源科	環境情報科	環境土木科	生活デザイン科	生活デザイン科		
高田	普通科	80	普通科	情報 コミュニケーション科						
セントジョフ女子学園	普通科	1,880	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
私立	普通科	560	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
	普通科	125	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		

全47学級
普通科※ 28
専門学科 19
(工業6)
(商業7)
(農業4)
(家庭2)
総合学科 0

※大学の「普通科」には、普通科系専門学科を含む
総合学科(午前の部)(40)、総合学科(午後の部)(40)、総合学科(夜間部)(40)
普通科(全日型コース、土曜コース、フレックスコース)

令和 21 年度までの鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の総学級数と当協議会の協議について

令和 7 年度 (現中 3) 地域の中学校卒業予定者数 2,267 人 (前年度比 ▲146) 募集定員 1,120 人	令和 9 年度 (現中 1) 地域の中学校卒業予定者数 2,218 人	令和 10 年度 (現小 6) 地域の中学校卒業予定者数 2,117 人	令和 15 年度 (現小 1) 地域の中学校卒業予定者数 1,783 人	令和 21 年度 地域の R5 年度出生者数 1,518 人
---	---	--	--	--------------------------------------



令和 6 年度 神戸高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 不断の進化を続ける「高品位な進学伝統校」
- 生徒、保護者、地域から信頼され、期待される学校

2 学校の特色（普通科 6 学級 + 理数 2 学級）

大正 9（1920）年に創立され、本年度 104 年目を迎えます。卒業生は 4 万人弱になり各界で活躍されています。生徒は開学当初からの校訓「質実剛健」のもと、誠実に心身ともに健やかで逞しく学業に励んでいます。

（1）「自らを知り、自分の目標に向かって挑戦し続けることのできる生徒」の育成
自分自身を知り、自らの目標を見極め、如何なる状況においても輝くことができる生徒を育てることをめざしています。生徒自身が主体的に挑戦できる環境を整え、仲間と切磋琢磨し、自己実現に向けた可能性を見出すことができる時間を持つことができると願い教育活動を行っています。

（2）地域とともに「神高生（かんこうせい）」

地名＝校名ということもあり、鈴鹿地区から 70% の生徒が通学しています。「神高生（かんこうせい）」と親しまれ、祖父から 3 代、兄弟姉妹も神高生という生徒も少なくありません。

（3）進学率

80% 強の生徒が四年制大学へ進学しています。国公立大学へは 80 名強が合格し、私立大学へはのべ 756 名の合格者を出しています。（令和 6 年度入試）

（4）神戸高校は頑張る生徒をサポートしています

① 部活動

13 の運動部と 14 の文化部があります。山岳部・放送部・吹奏楽部は全国大会の常連校です。

② 「総合的な探究の時間」＝「鈴鹿学」

普通科「総合的な探究の時間」を「鈴鹿学」と称しています。母校神高のある鈴鹿の街を、高校生ならではの視点で課題を見つけ、調査→検証・分析→考察をしています。

（5）特別進学クラスの「理数科」

理数科は、昭和 44（1969）年に設置され今年で 55 年になります。前期選抜で 40 名、後期選抜で 40 名の生徒を迎え入れています。文系・理系の枠にとらわれず、探究心・向学心あふれる生徒の育成をめざし、理数科独自の様々なプログラムがあります。「課題研究」は平成 22 年度より実施しており、その他鈴鹿市内小中学生向け実験講座、神戸中学校での「Teaching assistant」、神戸小学校への出前実験授業、立山室堂での自然体験合宿などに取り組んでいます。

令和6年度 飯野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

地域から愛され信頼される学校

【育みたい生徒像】

- 自分と他者の違いを認め、自分を大切にし、他者を思いやることができる生徒
- 基礎基本の力を身につけ、信頼される社会人として地域に貢献できる生徒
- 専門的な知識、技能の習得を通じて、自由で豊かな表現力、創造力を発揮できる生徒

2 学校の特色（応用デザイン科2学級＋英語コミュニケーション科2学級）

（1）応用デザイン科

- あらゆる造形表現活動を通して、自立して活動ができ、社会に貢献できる人材を育成します。
- 専門学科ならではの施設・設備を活用して、実習の時間を多く設けています。
- 1年生、2年生の作品展をはじめ、3年間の総まとめとして卒業制作展を行っています。
- 多くの生徒が国公立大学をはじめとする美術・デザイン系の学校へ進学し、専門性を追求します。
- 1年生では、デザイン・美術に関する基本的な知識と技術を習得し、造形表現活動に積極的に取り組む姿勢を身につけます。
- 2年生では、「ビジュアルデザイン」「服飾デザイン」「美術（油彩画・日本画・彫刻）」の3コース5専攻に分かれ、各専門分野の基礎的な知識と技術を習得します。
- 3年生では、各専門分野の知識と技術を深め、習得した知識と技術を主体的に卒業制作展の作品として結実させます。

（2）英語コミュニケーション科

- 英語による実践的なコミュニケーション能力を養成し、ますます国際化、情報化が加速する社会に貢献できる人材を育成します。
- 専用アプリを活用したスピーキングやライティング指導をはじめ、4技能5領域を伸ばすための充実した英語学習環境を整えています。
- スピーチコンテストやエッセイコンテストにおいて優秀な成績を収める他、3年生では集大成である「英語表現演習発表会」を開催します。
- 在籍している生徒の半数以上が外国にルーツのある生徒です。ともに学校生活を送るなかで、豊かな国際感覚を身につけることができます。
- サマーセミナーや大学見学、外部講師による講演・ワークショップなど、充実した英語関連行事を行っています。
- オーストラリア姉妹校との交流や国内語学研修など、豊富な国際交流の機会を設けています。
- 日本語の支援が必要な生徒には、取り出しの授業や外国人生徒支援専門員による授業サポートおよび通訳補助などの支援を行っています。

令和6年度 飯野高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

地域から愛され信頼される学校

【育みたい生徒像】

- 自分と他者の違いを認め、自分を大切にし、他者を思いやることができる生徒
- 基礎基本の力を身につけ、信頼される社会人として地域に貢献できる生徒
- あいさつをはじめ、他者と適切なコミュニケーションがとれる生徒

2 学校の特色（普通科2学級）

（1）教育目標

充実した多文化共生教育やキャリア教育をとおして、多様なニーズを有する生徒たちが自信と誇りをもって社会で生きる力を養成し、生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育みます。

（2）多文化共生教育を推進する特色ある教育

- 「職業基礎」や「職業一般」をとおして「働く」ことについて学びます。
- 外国人生徒の理解度に合わせて、「入門日本語」および「実用日本語」を開設し、きめ細やかな日本語指導を行います。
- 「国際理解」や「スペイン語」「ポルトガル語」についても学ぶことができます。

（3）働く人などの「学びなおし」を応援する学習時間帯

自分のライフスタイルに合わせて学習できるよう、2つの学習時間帯から選ぶことで、自らのペースで基礎からじっくりと学ぶことができます。

I部・・・15:50～19:25 II部・・・17:35～21:10

（4）柔軟な教育システムと多様な学習形態

- 興味・関心・進路に応じた科目を選択し、自分で時間割を作ることができます。
- 他部の授業を学習するなど、さまざまな学び方により3年間で卒業することもできます。
- 二学期制で、学期ごとに単位を認定することから、9月末に卒業することもできます。

（5）充実した進路体制と学校行事

<進路体制>

就職コーディネーターと連携した進路相談・就労支援を積極的に行うとともに、職業別体験実習ガイダンスを開催します。また、進学希望者には個別指導を中心に学力の向上を図る取組を進めます。

<学校行事>

体育祭、文化祭、定時制・通信制生徒生活体験発表会・文化作品展、定時制・通信制スポーツ大会、修学旅行・遠足、新年生徒交流会などの学校行事も充実しており、年次を超えた交流をとおして、楽しい学校生活を送ることができます。

令和6年度 白子高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 地域から愛され応援される、誇りを持った生徒を育てる学校
- 学力向上と進路実現を図り、自立した生徒を育てる学校
- 互いの人権を尊重し、心豊かな生徒を育てる学校

2 育みたい生徒像

- 共に支え合いながら、地域社会のために貢献できる生徒
- 自分で考え、行動し、主体的に生きることができる生徒
- お互いを認め合い、豊かな人間関係を築くことができる生徒

3 学校の特色

（普通科4学級 + 普通科文化教養(吹奏楽)コース1学級 + 生活創造科1学級）

（1）教育コンセプト

本校では『自己肯定感を育み、人格形成を重視した学校づくり』をめざし、『創造』の成果を『奉仕』に活かし、『奉仕』の中で『規律』を学ぶ、『規律』を持って新しい『創造』に向かうという教育コンセプトを掲げています。

（2）学科の特徴

<普通科>

堅い基礎・基本が生み出す、厚い基盤。確かな学力をつけ、次のステージへとつなげます。2年次には、「進学」「教養」の2コースに分かれ学習し、3年次には、さらに普通科ならではの多様な履修科目があります。

進路は、就職・専門学校進学・大学(文系・理系)・短大進学・看護医療系進学と、多様な希望に対応します。

<普通科文化教養(吹奏楽)コース>

音楽の専門的な技術(器楽)を習得できる授業と教諭・講師陣(プロのマンツーマンレッスン)が充実しています。3年間をとおして音楽の基礎、基本を楽しく学べます。

また、授業の一環で成果発表や地域交流に取り組み、豊かな人間性を身につけます。

進路は、普通科の中のコースとして音楽系以外にも多様な希望に対応します。

<生活創造科>

家庭に関する知識や技術・マナーを学習し、心豊かなライフスタイルを身につけます。2年次からは、「食彩」「服飾」の2コースに分かれて学習し、専門性を追求するとともに、家庭クラブを中心に地域交流やボランティア活動に全学年で取り組み実践力を高めます。また、県内外の専門学校の先生や地域のプロフェッショナルを招いての特別講義も多く行っています。さらに、地元企業との連携によるイベントへの参加により創造力の向上を図ります。

（3）部活動

運動系は10部が活動しており、中でも卓球部男子は県総体5連覇、卓球部女子は県総体29連覇しており、全国高校総体優勝を目指して取り組んでいます。

文化系は13部が活動しており、中でも吹奏楽部は、毎年吹奏楽コンクール東海大会に出場し、過去には全国大会に6回出場しています。

1 めざす学校像

- 学校・家庭・地域の連携のもと『社会に役立つ人材の育成』に取り組む学校
～知・徳・体の調和がとれた教育実践をとおして～

2 学校の特色（普通科3学級 + 体育科1学級）

◎普通科

2年次より、生徒の興味・関心に合わせて学習できる6つのコースから選択して取り組みます。

○「アドバンスコース（5教科の多様な学び）」

- ・国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、英語の5教科の授業を通して、幅広い教養を身につけることをねらいとするコースです。

○「食物調理コース（家庭科の授業）」

- ・食文化や食品、調理についての専門的な知識を学ぶとともに、調理実習や実験等を通して、計画的に考え自ら行動する力を身につけ、食物調理技術検定の取得をめざし、食物に関する知識や技術を深めます。

○「情報コース（情報科の授業）」

- ・コンピュータの知識、技術、情報モラルを学び、正しく情報を活用できる力とともに、コンピュータに関する検定取得をめざし、実社会で生きる力を身に付けていきます。

○「自動車工業コース（工業科の授業）」

- ・エンジン分解・組立実習や自動車の原理・機構、基本的な金属加工実習や計測・工具の扱い方を学びます。学校近隣の企業での実習や職業訓練センターでの学習を通して、最先端のものづくりについて学び、職業人としての意識を高めます。

○「ビジネスコース（商業科の授業）」

- ・技能やマナー、簿記会計、情報処理等の学習をとおしてビジネスシーンにおいて必要とされる様々な力を養い、ビジネスの活動において実践的な対応力を身につけます。

○「介護福祉コース（福祉科の授業）」

- ・2年間で「介護職員初任者研修課程」に取り組み、介護用ベッドや車いすなどを使った校内実習や、学校近隣の福祉施設での実習を行います。様々な人々と交流し、福祉についての専門的な知識や技能を身につけます。

◎体育科

全天候型400mトラックや専用グラウンドを備えており、アスリートの競技力向上を目指した幅広い学びと目標達成の支援が可能です。さらに、スポーツを通じてコミュニケーション能力を育成し、地域の小中学生への出前授業や鈴鹿医療科学大学との連携授業を通じて、実践的な学びや知識・技術を習得する機会を提供しています。これらの取組を通じて、社会で活躍する人材の育成を目指しています。

（主な行事）キャンプ実習、スノーボード実習、水泳実習など。

稲生高校は、基礎・基本の学習を重視し、ICT機器を活用したわかりやすい授業や生徒が主体的に活動する授業を導入しています。多くの生徒が「勉強が苦手だったけど、わかるようになって楽しい」と感じています。

進路面では、鈴鹿市や亀山市、津市のものづくりの会社を中心に地域の産業界へ就職した卒業生が多く活躍しています。さらに、大学や短期大学、専門学校に進学する生徒もいます。どちらの進路にも対応するため、生徒一人ひとりが一生懸命取り組むことで、希望する進路に近づける学校です。

令和6年度 石薬師高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校
- 地域から信頼され、強い責任感を持ち、将来の社会に貢献する生徒を育てる学校
- 笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校

【育みたい生徒像】

- 基礎基本の学力を身につけ、主体的に学習に取り組み、生涯にわたり学ぶ力を育てる。
- キャリア教育を通して自己の進路について考え、社会の一員として貢献できる力を育てる。
- 豊かな人間性を身につけ、積極的にいじめ防止に向けて行動できる力を育てる。

2 学校の特色（普通科3学級）

（1）学校概要

- 鈴鹿市の高台に位置し、晴れた日には東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈を望む風光明媚な環境にあります。
- 自主、創造、敬愛の精神を大切にし、就職をめざす生徒、進学をめざす生徒に対してきめ細かくサポートしています。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、就職実現コーディネーター、特別支援補助員等が定期的に在籍し、サポートする体制を設けています。
- 杉の子特別支援学校石薬師分校と校舎を共用しており、各棟にエレベーターやスロープを設け、ユニバーサルデザインに配慮しています。

（2）学習指導

- 国語・数学・英語では少人数授業（習熟度別）を行っており、高校入学までの学習内容の確認を含め、基本的なことから学ぶことを大切にしています。
- 1年生は全員共通の科目を学び、2年生より2つの類型に分かれて学びます。

【スタンダード類型】

就職など社会で活躍できるように必要な基礎的・基本的な知識を身につけ、仕事や実生活に役立つ情報・商業・家庭等の知識や技術を学びます。将来、地域の即戦力として活躍することを目指します。

【アカデミック類型】

4年制大学や短期大学・専門学校等に進学するために必要な学習を行いながら、これからの社会に参画するための思考力や行動力を高めます。進学を中心に幅広い進路に対応します。

（3）進路指導

- 地元企業に就職する生徒が多く、各事業所をはじめ、商工会議所やハローワーク等の関係機関と連携を図りながら、きめ細やかな進路指導を行っています。
- 個別面談を定期的実施し、3年間を通して自分の進路の実現に向けてじっくりと考え、社会に貢献する力を高めていけるよう取り組んでいます。
- 事業所・上級学校見学会（1年生）、インターンシップ（2年生）、面接指導（3年生）、地元企業による説明会、卒業生を招いて進路実現の話を聞く集会（ようこそ先輩）等の体験的なキャリア教育の活動に力を入れています。

1 めざす学校像

○校訓「自主自律」の精神のもと、自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育て、明日の地域社会を担う人材を育む亀高

【育みたい生徒像】

- 自他を尊重するとともに、豊かな人間性を身につけ、社会の一員として責任感を持って貢献することができる亀高生
- 時と場に応じた挨拶・服装・対話等が、自主的に情報発信できる亀高生
- 自分の進路についてしっかりと考え、その実現に向けて主体的に学習に取り組むことができる亀高生

2 学校の特色（普通科2学級 + システムメディア科2学級 + 総合生活科1学級）

亀山高校は創立104年目を迎えた伝統校で、亀山市唯一の県立高校です。そのため地元からの期待も大きく、地域連携による教育活動を多岐に展開しています。

3学科の学科枠を越えて専門科目が学べる「総合選択制」があり、「進学にも就職にも強い」進路選択を可能としています。

国際社会に貢献できるデジタル人材育成にむけて、文部科学省指定事業である、令和5年度「リーディングDXスクール事業（生成AIパイロット校）」に続き、令和6年度から5年間「高等学校DX加速化推進事業」に取り組み始めました。

（1）特色ある3つの学科

- 普通科：生徒のニーズにあわせて、2年次からは「アドバンス（特別進学）」「セレクション（就職・進学）」の2系列を3学級の少人数で展開し、さらに選択科目による少人数講座でよりきめ細かな学習指導を行い、進路実現をサポートしています。
- システムメディア科：三重県で唯一の情報に関する専門学科で、2年次から「ITシステム」「メディアデザイン」「情報ビジネス」の3系列に分かれ、各系列の専門科目を学習してスペシャリストを育成しています。
- 総合生活科：家庭に関する専門学科で、2年次からは「幼児教育」「食物文化」「人間福祉」の3系列に分かれ、外部講師による授業や校内外における実習など、体験的な学習を通して、それぞれの系列において専門性の高い学習を展開しています。

（2）地域連携による教育活動

- 普通科では、地元企業等の協力を得て、2年生が5日間のインターンシップに取り組み、職業観や勤労観を踏まえた進路実現に繋がっています。
- システムメディア科「課題研究」では、近隣の幼稚園と小学校へ年間各4回出向いて、デジタル知育ゲームやプログラミングをとおして児童生徒と交流学習を行っています。亀山市民パソコン講座は、年間8回20年以上継続して開催しています。また広報制作講座では、地域団体からポスター制作の依頼を受けて納品しています。
- 総合生活科では、保・幼稚園、飲食店、高齢者・障害者施設等で実習を行ったり、和菓子店、社会福祉協議会等の方から講習を受けたりして専門性を高めています。また、課題研究では、グループのテーマ課題を解決するために、亀山市等関係者の協力を得て調査研究を進めています。他にも小学校出前授業、図書館での絵本読み聞かせ、老人ホーム訪問など、充実した教育活動を行っています。
- インターアクト部では亀山市主催の小学生サマーキャンプにリーダーとして参加したり、地域の方々の協力を得て「関宿スイーツマップ」を作成したりして社会貢献しています。フレンドリークラブでは、亀山市立3中学校生徒との人権研究発表会を開催し、情報交流を図っています。また、学校説明会とは別に、亀山市立3中学生のキャリア教育として、高校授業体験を本校教員が実施しています。

杉の子特別支援学校

1 概要

特別支援学校は、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱の障がいを対象としており、それぞれの教育部門に対応した専門的な教育を行っています。

杉の子特別支援学校では、鈴鹿市および亀山市を通学範囲として、知的障がい、肢体不自由の教育部門を設置しています。

本校においては、肢体不自由の教育部門（小学部、中学部、高等部）と、知的障がいの教育部門の小学部を、石薬師分校においては、知的障がいの教育部門の中学部と高等部を設置しています。

【石薬師分校の沿革】

- ・平成 22 年 4 月 1 日 県立杉の子特別支援学校石薬師分校（高等部）が、県立石薬師高等学校内に開校。
- ・令和 5 年 4 月 1 日 石薬師分校に中学部が移転。

2 教育目標

○学校教育目標

- ・一人ひとりの児童生徒の可能性を引き出し、生きる力を育成する。

○目指す学校像

- ・一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。

○育みたい子どもの姿

- ・自立と社会参画をめざし、主体的に取り組む子ども
- ・自己肯定感と他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども

3 生徒

(1) 生徒数（令和 6 年 5 月 1 日現在）

【本校】

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
小学部（知的）	12	8	5	11	14	9	59
小学部（肢体）	3	3	1	2	1	2	12
中学部	2	2	0				4
高等部	3	0	2				5
計	20	13	8	13	15	11	80

【分校】

	1 年	2 年	3 年	計
中学部	15	12	15	42
高等部	38	28	34	100
計	53	40	49	142

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)卒業生の進路状況

資料 1 1

【令和6年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
神戸	普通 理数	240	12	10	4	9	275
		87.3%	4.4%	3.6%	1.5%	3.3%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	29	10	54	29	24	146
		19.9%	6.8%	37.0%	19.9%	16.4%	100.0%
白子	普通 文化教養	48	16	53	44	5	166
		28.9%	9.6%	31.9%	26.5%	3.0%	100.0%
	生活創造	2	4	18	12	2	38
		5.3%	10.5%	47.4%	31.6%	5.3%	100.0%
石薬師	普通	6	1	14	74	1	96
		6.3%	1.0%	14.6%	77.1%	1.0%	100.0%
稲生	普通 体育	22	7	39	107	10	185
		11.9%	3.8%	21.1%	57.8%	5.4%	100.0%
亀山	普通	37	8	12	20	1	78
		47.4%	10.3%	15.4%	25.6%	1.3%	100.0%
	システムメディア 総合生活	15	17	36	48	1	117
		12.8%	14.5%	30.8%	41.0%	0.9%	100.0%
普通科計 (理数科含む)		382	54	182	278	50	946
		40.4%	5.7%	19.2%	29.4%	5.3%	100.0%
専門学科計		17	21	54	60	3	155
		11.0%	13.5%	34.8%	38.7%	1.9%	100.0%
総合学科計		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		399	75	236	338	53	1,101
		36.2%	6.8%	21.4%	30.7%	4.8%	100.0%

【令和5年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
神戸	普通 理数	257	16	17	2	15	307
		83.7%	5.2%	5.5%	0.7%	4.9%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	33	8	44	28	26	139
		23.7%	5.8%	31.7%	20.1%	18.7%	100.0%
白子	普通 文化教養	45	15	53	47	6	166
		27.1%	9.0%	31.9%	28.3%	3.6%	100.0%
	生活創造	1	5	18	15	0	39
		2.6%	12.8%	46.2%	38.5%	0.0%	100.0%
石薬師	普通	3	2	19	83	3	110
		2.7%	1.8%	17.3%	75.5%	2.7%	100.0%
稲生	普通 体育	23	4	42	112	2	183
		12.6%	2.2%	23.0%	61.2%	1.1%	100.0%
亀山	普通	43	6	24	37	2	112
		38.4%	5.4%	21.4%	33.0%	1.8%	100.0%
	システムメディア 総合生活	17	14	35	54	0	120
		14.2%	11.7%	29.2%	45.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (理数科含む)		404	51	199	309	54	1,017
		39.7%	5.0%	19.6%	30.4%	5.3%	100.0%
専門学科計		18	19	53	69	0	159
		11.3%	11.9%	33.3%	43.4%	0.0%	100.0%
総合学科計		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		422	70	252	378	54	1,176
		35.9%	6.0%	21.4%	32.1%	4.6%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業生数に対する割合を表す

※「短大」は高専を含む

※「四年制大学」は大学校を含む

※「その他」は進学待機を含む

地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について

- 調査主体：鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会
- 実施形態
 - 中学生：一人一台端末から Web アンケート（LoGo フォーム）による生徒アンケートを実施
 - 保護者：各市教委から中学校、生徒を通じてアンケートの依頼を配付 Web もしくは、紙媒体による保護者アンケートを実施
- 調査対象者
 - 中学生：鈴鹿亀山地域(鈴鹿市・亀山市)の公立中学校に在籍する 2 年生(約 2,150 人)の生徒
 - 保護者：公立中学校に在籍する 2 年生(約 2,150 人)の保護者
公立小学校に在籍する 5 年生(約 2,150 人)の保護者
- 調査期間：令和 6 年 9 月頃

参考：令和 4 年度 伊勢志摩地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査

- 調査主体：伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会
- 調査形態：
 - 中学生：一人一台端末の C B T システム利用による生徒アンケートを実施
 - 保護者：市町教委から中学校、生徒を通じて紙媒体アンケートを配付・回収
- 調査対象者
 - 中学生：伊勢志摩地域の公立中学 2 年生全員
(伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会町・南伊勢町・玉城町・大紀町)
 - 保護者：同上の保護者
- 調査期間：令和 4 年 1 0 月中旬～1 1 月 1 1 日 (金)
- 回答者数
 - 中学生：1, 5 3 8 人 / 1, 7 0 2 人 (回収率 9 0 . 4 %)
 - 保護者：1, 3 9 1 人 / 1, 6 9 2 人 (回収率 8 2 . 2 %)

高校や将来に関するアンケート

〇〇地域の中学 2 年生のみなさんへ

令和 6 年 9 月 〇〇地域高等学校活性化推進協議会

1 あなたは、どこに住んでいますか。次から 1 つ選んでください。

- ① 〇〇市 ② △△町 ③ ◇◇町 ④ ▲▲町

2 あなたが所属する学年は全体で何人ですか。次から 1 つ選んでください。

- ① 20 人以下 ② 21～40 人 ③ 41～80 人 ④ 81～120 人
⑤ 121～160 人 ⑥ 161～240 人 ⑦ 241 人以上

3 あなたは、中学校卒業後どのような進路を希望しますか。

- ① 高校等へ進学（設問 4 以降へ） ② 就職・その他（設問 10 へ）

4 あなたが高校を選ぶとき、重視する点は何ですか。6 つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがある
② 確かな学力を身につける授業が充実している
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できる
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる
⑤ 地域と連携した活動が充実している
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会い
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる
⑩ 通学のしやすさ・距離
⑪ 学校の雰囲気・イメージ
⑫ 施設・設備の充実
⑬ 進学・就職の実績
⑭ 自分の適性や能力
⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見
⑯ 学費などの経費負担
⑰ その他（設問 5 の自由記述へ）

5 4 で「⑰ その他」を選んだ人は、重視する点を書いてください。**6 高校の学級は、1 学級 40 人を基本としています。あなたが進学するとしたら、1 学年あたりどのくらいの学級数（人数）の高校に入学したいですか。次から 1 つ選んでください。**

- ① 1 学級（40 人） ② 2 学級～3 学級（80～120 人）
③ 4 学級～6 学級（160～240 人） ④ 7 学級以上（280 人～）

7 あなたは高校に、どのような教育を期待しますか。5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
- ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（設問8の自由記述へ）

8 7で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。

9 あなたが進学を希望する高校に通学する場合、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度まで可能ですか。次から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで ② 60分以内まで ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで ⑤ 121分以上

10 将来、あなたはどこで生活したり、働いたりしたいですか。次から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町） ② 地元以外の〇〇地域 ③ 〇〇地域以外の三重県内
- ④ 県外 ⑤ 海外 ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻りたい
- ⑦ まだ決まっていない、わからない

11 「高校や将来に関するアンケート」の内容に関して、考えや思いがあれば、書いてください。

〇〇地域の県立高校に関するアンケート

< 質 問 > あてはまる選択肢の番号に○を付けてください。

1 現在の居住地はどこですか。

- ① 〇〇市 ② △△町 ③ ◇◇町 ④ ▲▲町

2 あなたのお子さんは何年生ですか。2人以上いる場合は、上の学年でお答えください。

- ① 中学2年生 ② 小学5年生

3 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。6つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがあること
 ② 確かな学力を身につける授業が充実していること
 ③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること
 ④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること
 ⑤ 地域と連携した活動が充実していること
 ⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること
 ⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること
 ⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること
 ⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること
 ⑩ 通学のしやすさ・距離 ⑪ 学校の雰囲気・イメージ ⑫ 施設・設備の充実
 ⑬ 進学・就職の実績 ⑭ 自分の適性や能力
 ⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見 ⑯ 学費などの経費負担
 ⑰ その他（設問4の自由記述へ）

4 3で「⑰ その他」を選んだ人は、重視してもらいたい点を書いてください。

5 高校の学級は、1学級40人を基本としています。お子さんが進学する高校の1学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

- ① 1学級（40人） ② 2学級～3学級（80～120人）
 ③ 4学級～6学級（160～240人） ④ 7学級以上（280人～）

6 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
 ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
 ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
 ④ 地域を題材として学ぶ教育 ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
 ⑥ 人権に対する意識が高まる教育 ⑦ 基本的な知識が身につく教育

- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（設問7の自由記述へ）

7 6で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。

8 現在〇校合計で1学年あたり〇学級規模ある〇〇地域の県立高校は、15年先の令和21年度には〇～〇学級規模になると見込まれます。今後の〇〇地域の県立高校の配置のあり方について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

次の①～③から1つ選んでください。

- ① 各校の小規模化が進むこととなるが、統合は避けるべき
- ② 大規模・中規模の高校を配置するため、一定の統合は避けられない
- ③ 大規模・中規模の高校をできる限り配置するため、積極的に統合を進めるべき

9 設問8の①～③を選んだ理由や、今後の〇〇地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

10 お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

11 将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんはどこで生活や働いてほしいと考えますか。次から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町）
- ② 地元以外の〇〇地域
- ③ 〇〇地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
- ⑦ 特に考えはない

12 今後の〇〇地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

（事務担当） 三重県教育委員会事務局 教育政策課 059-224-2951（平日9:00～17:00）
ご協力ありがとうございました。

すずかかめやまちいき けんりつこうこう かんする あんけーと 鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート

すずかかめやまちいき ちゅうがっこう ねんせい しょうがっこう ねんせい ほごしや
鈴鹿亀山地域の中学校2年生・小学校5年生の保護者のみなさんへ

れいわ ねん がつ すずかかめやまちいきこうとうがっこうかっせいいかすいしんきょうぎかい
令和6年9月 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

ほんきょうぎかい とうちいき けんりつこうこう かっせいいか きょうぎ なか しんがく ひか せいと
本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で進学を控える生徒・
ほごしや かた いけん さんこう きょうぎ すず かなが い か しりょう さんしょう
保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のう
え あんけーと きょうりよく ねが とうちいき ちゅうがく ねんせい たいしょう
え、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の中学2年生を対象に、
べつと あんけーと じっし
別途、アンケートを実施しています。）

【資料】

ぐろーばるか でじたるか しゃかい おお へんか しょうし こうれいか しんこう きょういくてきに ーざ
○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの
たようか すす なか れいわ ねん がつ けんりつこうとうがっこうかっせいいかいけいかく
多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちに
とって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

なか ねんさき ちゅうがっこうそつぎょうしや げんしょう じょうきょうとう じだい もと
○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求めら
れる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、
かくちいき かっせいいかきょうぎかい こうとうがっこう まな はいち かた けんとう ていねい すず
各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとし
ており、鈴鹿亀山地域においては、本協議会で検討を進めています。

れいわ ねんど すずかかめやまちいき ぜんにちせいけんりつこうこう ねんせい そうがっきゅうすう ていいん こう がっきゅう にん
○令和7年度の鈴鹿亀山地域の全日制県立高校1年生の総学級数（定員）は、6校で28学級1,120人
となっています。

- ・神 戸（7学級280人）
- ・飯 野（4学級160人）
- ・白 子（6学級240人）
- ・石 薬 師（2学級80人）
- ・稲 生（4学級160人）
- ・亀 山（5学級200人）

れいわ ねんど ねんど ちゅうがっこうそつぎょうしやすう よそく ちいき しゅつしょうすう しんろじょうきょう た
○令和7年度から21年度までの中学校卒業者数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他
ちいき りゅうしゅつにゆう こうりよ がっきゅうすう よそく れいわ ねんど がっきゅう れいわ ねんど う
地域との流入などを考慮して学級数を予測すると、令和7年度の28学級から令和5年度に生
まれた子どもたちが中学校を卒業する令和21年3月には、およそ15～17学級（令和7年度より11
～13学級少なくなる）となることが見込まれます。

	れいわ ねん がつ 令和7年3月	れいわ ねん がつ 令和10年3月	れいわ ねん がつ 令和21年3月
ちゅうがっこうそつぎょうしやすう 中学校卒業者数	2,267人	2,117人	1,518人
そうがっきゅうすう 総学級数	28学級	25学級程度	15～17学級程度

ちゅうがっこうそつぎょうしやすう れいわ ねん れいわ ねん よそくち れいわ ねん ちいき しゅつしょうすう
※中学校卒業者数：令和7年、令和10年は予測値、令和21年は地域の出生数

(参 考) これまでの協きょうぎかい議がいよう会はいふしりようの概要や配付資料については、下記のHPかきHPをごらんご覧ください。

R5第1回協議会 (R6.1.24)



(資料)

- ・中学校卒業生進路先
の推移
- ・県立高等学校の入学
者選抜の状況
- ・地域の各県立高等学
校について
など

アンケート回答方法等について記載